

- 一 教材名 おむすびころりん（光村一年上）
 二 教材について

(1) 第一学年及び第二学年の国語科の「C 読むこと」の指導目標は「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる」である。この目標に迫るためには、易しい読み物に興味を持ち、読む力、場面の様子などについて想像を広げながら読む力、語や文としてまとめたりや内容、響きなどについて考えながら声に出して読む力を育成することが必要である。

子どもたちはこれまでの物語文の学習の中で、文章と挿絵を対応させて読むこと、主語、述語、修飾語に気を付けながら文章を読むことを通して場面の様子などについて想像を広げながら読む力を培ってきた。また、句読点や声量に気を付けて声に出して読む力を培ってきた。

子どもたちは、挿絵と文章を対応させながら楽しく物語を読む姿勢が身につけてきている。また、句読点や声量に気を付けて声に出して読むこととする姿勢も身に付いてきている。しかし、語や文をまとめたりとしてとらえられない子や、声に出して読むことに抵抗のある子どもも見られる。

- (2) 本教材では「場面の様子を想像しながら、楽しく読むこと」「声に出して読んで言葉の響きやリズムを楽しむこと」をねらいとする。

教材「おむすびころりん」は、語り継がれ、親しまれてきた昔話を、九連の詩形式で表現したものである。七五調の調子よいリズムで話が展開し、児童が八枚の挿絵と合わせながら話の流れをとらえるのは容易である。表現上の特色として繰り返しの言葉により、おじいさんの様子や動作が分かりやすく表現されている。また、おむすびの転がる様子など効果的に擬態語表現が用いられている。

子どもたちは、簡潔な描写、繰り返しの表現から、言葉のもつリズムを感じながら、自然に話に引き込まれていくと思われる。声に出して読む活動を十分に行うこと通して、話の世界をイメージ化し、楽しく想像豊かに読むことができると思われる。

以上の点から、本教材は、場面の様子を想像しながら、楽しく読む能力、声に出して読んで言葉の響きやリズムを楽しむ能力を養うのにふさわしい教材と言える。

- (3) 指導にあたっては次の点に留意していく。

一点目は、単元の始めにもつた子どもの思いや願いをもとに学習展開を工夫していくことで、目的意識を明確にしたり、持続させたりすることである。

本教材を読み、子どもたちは話のおもしろさとともに、声に出して読んで楽しむことに興味関心をもつと思われる。そこで、話のおもしろさを十分に味わわせ想像豊かに読むことができるよう単元の始めに初発の感想を話し合う活動を位置付け、課題作りに生かしたり、各場面の読み深めの中で位置付けたりしながら、単元の始めのこともつた興味関心を生かした読み取りを進めていく。また、単元の終末に表現活動として「音読発表会」を位置付けるとともに、随時、声に出して表現する活動を位置付けていく。話の展開をしっかりとらえたうえで、表現の特徴を生かし、思い思いに楽しく音読や暗唱、動作化をする活動を取り入れて文章を読み味わっていききたい。その際、一人一人の表現活動によさや工夫を認めながら支援していききたい。

二点目は、読み深め合いの場での教師のかかわりを工夫することで、子ども一人一人の読みを広げたり、深めたりすることができるようにすることである。場面をとらえ、子どもの初発の感想を位置付けながら、一人の子どもの読みを全体で補正し合うことを通して、互いの考えをつむぎ合わせていくとともに、想像豊かに読み深めていくことができるようにする。その際、

必要に応じて意図的に個々の読みを紹介し、よさを位置付けたり、言葉への気付きを価値付けたりする支援を工夫していきたい。

三 指導目標

- (1) 国語への関心・意欲・態度
- ・ 昔話のおもしろさに興味をもちながら、楽しく声に出して読もうとする。
- (2) 読むこと
- ・ おじいさんの様子や場面の様子を想像しながら、楽しく読み取ることができる。(読むウ)
- ・ 物語の場面の様子を考えながら、声に出して読むことができる。(読むH)

- (3) 言語についての知識・理解・技能
- ・ 姿勢、口形などに注意して、はっきりした発音で声に出して読むことができる。(言語 A/A)

四 単元の評価規準

リズムある文章に関心をもち、進んで動作を工夫したり、はっきり音読したりしようとしている。

繰り返し表現などに気を付けながら読み、場面の様子を想像しながら読み取っている。
物語の場面の様子が分かるように動作や読み方をしている。

はっきりとした発音でリズムにのって読んでいる。

五 指導計画および評価計画(六時間扱い)

時	学習活動	具体の評価規準	未達成の場合の手立て
1	・ 学習のねらいを知り、学習の見通しをもつ。	・ 「おむすびころりん」の話を読み、おもしろいと思ったことや好きなことを進んで話そうとしている。	・ どの場面が楽しかったか挿絵をもとに選ばせるとともに、その理由を対話しながら話させる。
2	・ おむすびを追いかけるおじいさんの様子を読み取る。	・ おむすびを追いかけるおじいさんの様子を読み取り、それに合わせた動作や読み方をしている。	・ 「さて、さて」の文に着目させ、挿絵と対応させながら追いかけているおじいさんの様子を対話しながら読み取ることができるようにする。
3 (本時)	・ 穴から聞こえてきた歌を聞くおじいさんの様子を読み取る。	・ 穴から聞こえてきた歌を聞いたおじいさんの様子を読み取り、それに合わせた動作や読み方をしている。	・ ねずみの歌を聞いたおじいさんの様子に着目させ、挿絵と対応させながら歌に合わせて踊り出すおじいさんの様子を対話しながら読み取ることができるようにする。
4	・ ねずみの穴での出来事を読み取る。	・ おじいさんの様子やねずみの様子を読み取り、それに合わせた動作や読み方をしている。	・ ねずみの歌に着目させ、挿絵と対応させながら、ねずみの穴での出来事を対話しながら読み取ることができるようにする。
5	・ 家に帰ってきたおじいさんとおばあさんの様子を読み取る。	・ おじいさんやおばあさんの様子を読み取り、それに合わせた動作や読み方をしている。	・ 「あれ、あれ、あれ」の言葉に着目させ、挿絵と対応させながら小槌をぶつたおじいさんの様子を対話しながら読み取ることができるようにする。
6	・ いろいろな工夫をして動作化と音読をする。	・ 読み取ったことを生かして動作や読み方を工夫して発表している。	・ 友達や教師と一緒に工夫することで、自信をもって発表できるようにする。

六 本時の指導

(1) 本時の指導にあたって

子どもたちは、前時の学習において、おむすびを追いかけるおじいさんの様子について読み取りを進めてきた。自己学習ではおじいさんの様子が分かる文にサイドラインを引く活動を行い、それをもとに、あわてておむすびを追いかける様子を読み深めてきた。

本時は、穴から聞こえてきた歌を聞くおじいさんの様子を読み取ることを行いたいとする。

前半では、挿絵をもとに、大まかな粗筋を確認するとともに、子どもの初発の感想「おじいさんがおどっているところがおもしろい」を取り上げながら踊っている理由を考えるとこの本時学習の見通しをもたせたい。

自己学習では、「ねずみの歌がおもしろかった」という子どもの感想を生かしながら、どんな歌が穴から聞こえてきたのか分かる文章にサイドラインを引かせる。その後気付いたこと発表させることで一字下げになっていることと、三回繰り返して出てくることをとらえさせる。

後半では思わず踊り出してしまっておじいさんの様子を読み深めていく。その際、子どもの初発の感想「どうしてもう一度穴の中におむすびを入れたのか。」を全体の中で話し合うことで、歌を聞きたいと思っているおじいさんの気持ちに気付くことができるようにする。また、「おなががすいていることなんか わすれてしまった」という言葉に着目させ、おじいさんの楽しい気持ちや様子を読み取らせていきたい。

さらにおじいさんの楽しい気持ちを考えながら読むことができるよう動作を交えながらの役割読みや、おじいさんの気持ちを想像して吹き出しに書く活動を行うことで、本時のねらいにせまっていきたい。

(2) 本時の目標

・穴から聞こえてきた歌に合わせて踊り出すおじいさんの様子を読み取る。

(3) 展開

「前時の学習内容」 二時／六時間	学習活動と学習内容	時	指導上の留意点（個への支援）
<p>1 前時学習内容を想起する。</p> <p>2 本時学習課題を確認する。</p> <p>おじいさんは どうしておどっているのしょう。</p>	2	3	<p>「さて さて さて」と追いかけるおじいさんの様子を思い出しながら前時学習場面を音読させる。</p> <p>三枚の挿絵を提示し、話の順番に並び替え、大まかな粗筋をとらえさせる。</p> <p>子どもの初発の感想「おじいさんのおどっているところがおもしろい」を取り上げながら踊っている理由を考えるとこの本時学習の見通しをもたせる。</p> <p>本時場面を連ごとに指名読させる。音読した子どもには、句読点、正確さ、明瞭な発音などのよさを述べ励ます。</p> <p>「穴から聞こえてきた歌がおもしろかった」という感想を取り上げ、どんな歌が穴から聞こえ</p>
<p>2 本時課題解決に取り組み。</p> <p>(1) 学習場面を音読する P60～P61</p> <p>(2) 穴をのぞくおじいさんの様子を読み取る。</p>	0	3	

<p>(3) (二)二田のおむすびを転がすおじいさんの様子を読み取る。</p> <p>(4) 歌に合わせて踊りだすおじいさんの様子を読み取る。 おじいさんの気持ちを吹き出しに書く。 おじいさんの気持ちを話し合う。</p>	<p>1 0</p>	<p>てきたのか分かる文章にサイドラインを引かせ る。</p> <p>「どつしてもう一度穴の中におむすびを入れた のが。」という初発の感想を全体の中で話し合うこ とで、歌を聞きたいと思っているおじいさんの気 持ちに気付くことができるようにする。</p> <p>「おなががすいていることなんか わすれてし まった」という言葉に着目させ、おじいさんの楽 しい気持ちや様子を読み取らせる。</p> <p>「踊りながらどんな話をしているか。」を想像し て吹き出しに書くことで、おじいさんの楽しい気 持ちに迫っていく。</p> <p>書くことに抵抗のある子どもには、挿絵の表情 や「すっかりわすれた。」という言葉に着目させたり して、教師が対話しながら一文を書くことができ るようにさせる。</p> <p>表記についての誤りについては、巻末五十音表 を活用しながら修正することができるようにす る。</p> <p>読み深め合いにおいては、自分の考えを互いに 発表し合う活動を十分に保障するとともに、必要 に応じて、教師から意図的に個々の読みを紹介し、 そのよさを位置付けたり、言葉への気付きを価値 付け、読みを深めたりすることができるようにす る。</p> <p>評 歌に合わせて踊りだすおじいさんの様子を想 像することができるか。 発言・ノート おじいさんの楽しい気持ちを考えながら読むこ とができるよう動作を交えながら役割読みをさせ る。</p> <p>本時学習を振り返り、感想を発表する。</p>
<p>4 本時学習のまとめをする。</p> <p>(1) おじいさんの楽しい様子を想像し、 音読する。</p> <p>(2) 本時学習をふりかえり、発表する。</p> <p>(3) 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>【次時の学習活動】</p> <p>ねずみの穴での出来事を読み取る。</p> <p>・穴に落ちたおじいさんの様子を読み取る。</p> <p>・ねずみの歌にサイドラインを引き、歌の違いを読み取る。</p> <p>・ねずみの踊りを見るおじいさんの様子を読み取る。</p>	